

活動主題 「自分が熱中していることのファンを増やす。」(NEW CROWN Lesson 5 との関連)

活動の価値

プレゼンテーションとは、スライドや画像等の資料を活用しながら、自分の主張を相手に理解してもらう手段である。多様化が進む現代において、自らの考えを相手に伝えることの重要性が増している。すなわち、プレゼンテーションを行う力の必要性が高まっていると言えることができる。また、プレゼンテーションには、多くの人を魅了することができる可能性がある。自分が熱中していることを伝えることは、自分のことをわかってほしいという願いを叶える一助になる。熱中していることも多様化しているからこそ、相手が興味をもってくれたときには嬉しさを感じる。自分が熱中していることを伝えるためには、その良さを伝えるために、他より優れている点を説明したり、何も知らない相手にわかるように伝えたりする必要がある。そのときに、比較の表現が必要となる。人に物事を説明するときには、相手にわかりやすく伝えるために、比較しながら説明を行う。このとき、比較対象は話し手・書き手と聞き手・読み手の間で既知の情報であることが多い。なぜなら、相手が比較対象を知らないと、相手にわかりやすくするために行った比較が、相手にとってわかりやすいものにはならないからである。すなわち、比較する表現を知ること、聞き手・読み手に配慮しながら、事実や情報を説明したり理解したりすることができる。

本活動は「自分が熱中していることのファンを増やす。」を活動主題として、比較表現を使って、自分が熱中していることを相手にわかりやすく説明する活動である。この活動を通して、子どもは、2つ以上のものや人を比較して事実を表現することができるようになる。また、聞き手や読み手にわかりやすく伝えるために、相手に応じて比較対象を選択しながら説明することができる。さらに、友だちが探究していることや熱中していることについての説明を聞いて、共通の話題をもとに、質問したり考えや感想を伝えたりすることができる。すなわち、自分の考えや事実を整理して、コミュニケーションの相手に配慮しながら説明したり、説明を聞いて質問したりしてコミュニケーションを続ける姿につながるため本活動は大変意義深いといえる。

子どもの実態

本学級の子ども(〇名)は、事前アンケートで、プレゼンテーションを行うときに大切にしていることとして、相手にわかりやすいものにするると答えた子どもが、〇名だった。そのうち、図やグラフなどの資料を使うと答えた子どもが、〇名だった。その他の子どもは、声量や目線、簡単な単語を使うことなどを挙げていた。また、事前の調査問題では、形容詞の意味を答える問題(12問)において〇名の子どもが〇割以上の正答率であった。また、形容詞と副詞の使い分けに関する問題(4問)では、3問以上正解した子どもが、〇名であった。さらに、in や of を使い分ける問題(4問)では、3問以上正解した子どもが、〇名だった。一方で、形容詞の対義語の英単語を記述する問題(8問)では、6問以上正解した子どもは、〇名だった。

以上のことから、本学級の子どもたちは何かを説明するときに、聞き手や読み手に配慮しながら説明しようとしていることがわかった。しかし、わかりやすくするために、表現そのものを工夫したり修正したりしようとする意識が低いこともわかった。また、形容詞と副詞の知識に関しては、多くの子どもが既習の形容詞や副詞、前置詞の意味を理解していることがわかった。しかしその一方で、対義語の正答率が低いことから、英語と日本語を対にして理解している可能性があることがわかった。したがって、形容詞や副詞の意味を他の単語と関連づけながら理解し、聞き手や読み手に応じた比較対象を設定することができるように援助する必要があると考える。

活動の援助観

そこで本活動では、自分が熱中していることを英語で伝えることに関心をもち、形容詞と副詞の比較変化の表現を理解し、聞き手に応じて比較対象を選択しながら、2つ以上のものや人を比べて説明することができるようにすることをねらいとする。そのために次のような援助を行う。

- ・自分が熱中していることを英語で伝えることに関心と見通しをもつことができるように、プレゼンコンテスタの動画を視聴する場を設定する。
- ・形容詞と副詞の比較変化の表現を理解し、聞き手に応じて比較対象を選択することができるように、テレビショッピング風に商品の良さを伝える活動を設定する。
- ・2つ以上のものや人を比べて説明することができるように、グループを変えて複数回プレゼンテーションを行う場を設定する。

○ 子どもの学習目標

自分が熱中していることについてプレゼンテーションをすることができる。

○ 教師の援助目標

自分が熱中していることを英語で伝えることに興味を持ち、形容詞と副詞の比較変化の表現を理解し、聞き手に応じて比較対象を選択しながら、2つ以上のものや人を比べて説明することができるようにする。

活動計画 (10時間)

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	援助のねらい・内容・方法
一	1 ①	1 本単元の活動の流れをつかむ。 (1) Change Maker Awards の動画を視聴し、自分が熱中していることについて話す。 ・ Culture, Sports, History 学習課題 自分が熱中していることの良さがみんなに伝わるプレゼンテーションをしよう。	自分が熱中していることの良さを学級の人々に伝えることができるかな。 自分のテーマを知らない人にも、伝わるようにする必要があるしそうだ。	自分が熱中していることを英語で伝えることに興味と見通しをもつことができるようにする。 ・自分が熱中していることを英語で伝えることに興味と見通しをもつことができるように、プレゼンコンテストの動画を視聴する場を設定する。
本 時 3 / 4	1 ④	2 ものを比べて説明するときの表現について考える。 (1) ものを比べて、ちがいを説明する。 ・ Iwate is larger than Aomori. ・ Tom can run the fastest of four. ・ My dog is as cute as yours. ・ good-better-best ・ more, the most を用いた表現 (2) 日本の名産の魅力を ALT に伝える。 ・ Amaou is the sweetest strawberry in the world. ・ Japanese teacup is as small as Nicholas Mosse.	どうすれば、テーマを知らない人にも良さを伝えることができるかな。 相手が知っていることと比べると、良さが伝わりそうだ。	形容詞と副詞の比較変化の表現を理解し、聞き手に応じて比較対象を選択することができるようにする。 ・形容詞と副詞の比較変化の表現を理解することができるように、比較を使って答える質問を提示する。 ・聞き手に応じて比較対象を選択することができるように、テレビショッピング風に商品の良さを伝える活動を設定する。
	2 ③	3 自分が熱中しているテーマのプレゼンテーションを作成する。 (1) 伝えたい内容を整理し、原稿とスライドを作成する。 ・ テーマ、設定理由、きっかけ ・ Opening - Body - Closing (2) データや表、アンケート結果を探したり作成したりして、プレゼンを修正する。 ・ 客観的なデータの収集 ・ 事実と意見の区別	自分のプレゼンテーションではどんな工夫をすれば、聞き手に良いと思ってもらえるのかな。 相手によって、少し内容や文章を変えると良さがより伝わるんだ。	・事実や自分の考えを整理して表現することができるように、論理的な構成や展開の具体例をモデルとして提示する。 ・プレゼンテーションの内容に合ったデータを活用することができるように、モデルのプレゼンテーションと比較する場を設定する。
三	1 ②	4 自分が熱中しているテーマのプレゼンテーションを行う。 (1) グループで発表を行い、質問したり質問に答えたりする。 ・ I like Japanese comic books. Japanese comic books are the most popular Japanese culture in the world. 5 学習過程を振り返る。 (1) 形容詞と副詞の比較変化を用いて、表現できた場面や表現を整理する。	自分が熱中していることを、聞き手にわかりやすく伝えることができるかな。 相手に応じて、比較する対象を変えたり、データを用いたりしたら、良さが伝わった。自分が熱中していることを良いと思ってくれてうれしい。	聞き手に応じて比較対象を選択しながら、2つ以上のものや人を比べて説明することができるようにする。 ・聞き手に応じて比較対象を選択しながら、2つ以上のものや人を比べて説明することができるように、複数回行う場を設定する。 ・他の場面でも活用できるようにするために、学習を振り返る場を設定する。

本時 公開授業 1 第2学年〇組教室 第二次1時(3/4)

本時の援助観

前時までに子どもは、形容詞と副詞の比較表現の形について学習し、2つ以上のものを比べて、その違いを表現する英文を学習している。そこで本時では、日本の名産をALTに伝えるために、テレビショッピングという場において、魅力をどう表現するかを考える過程を通して、相手に応じて比較対象を選択することの必要性を感じることができるようにする。

主眼

相手に応じて、比較対象を選択することができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	援助のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時の学習の方向性を確認する。</p> <p>(1)状況を把握し、活動の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> There are 5 items. They are Japanese famous souvenirs. Amaou, Japanese sweets, Japanese teacup and chopsticks, kimono, Sensu (fan) <p>(2)めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Goal: Orla 先生に日本の名産の魅力を伝えよう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>活動に見通しをもち、Orla 先生に日本の名産を紹介することへの意欲を高めることができるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動に見通しをもち、Orla 先生に日本の名産を紹介することへの意欲を高めることができるように、テレビショッピングの動画を視聴し、本時のめあてを確認する。 	一斉 小集団	10
<p>2 日本の名産の魅力が伝わるテレビショッピングの紹介内容を考える。</p> <p>(1)個人で紹介内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> Look at this picture. This is Amaou. It is very famous in Japan. I like Amaou very much. <p>(2)班で紹介内容を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> What is the good point of the souvenir? Where can we buy the souvenir? <p>(3)紹介内容で使った表現を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力の伝え方 聞き手の確認、聞き手に関する情報 Ms. Orla is from Ireland. She has lived in Japan for more ten years. <p>(4)グループでお互いの商品を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> Look at this fruit. It is Amaou. It is the most famous strawberry in Japan. Amaou is sweeter than Irish strawberries. 聞き手から見た発表の良さの共有 商品の特徴の説明に関する良さ 適切な比較対象を選択していたかどうか 相手に訴える話し方 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>聞き手が Orla 先生であることを意識して、比較対象を選択できるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 紹介内容を考えることができるように、名産に関する情報を含んだヒントカードをタブレット端末で配布する。 テレビショッピング風に紹介できるように、音声を含んだヒントカードを配布する。 聞き手が Orla 先生であることを意識して、比較対象を選択できるように、Orla 先生の情報を確認する場を設定する。 聞き手を明確にした商品の紹介ができるように、聞き手は Orla 先生になりきって、商品の紹介を聞くように促す。 良さが伝わる発表を整理することができるように、視点を提示し、商品の魅力が伝わったかどうかを確認する場を設定する。 	一斉 一個 小集団 学級集団	30
<p>3 学習を振り返る。</p> <p>(1)自分が熱中していることを伝えるプレゼンテーションの原稿を付加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較対象の付加、修正 This game is more exciting than Pocket Monsters. <p>(2)学習を振り返り、本時をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> できたこと、なぜできたか、どう活かせるか 自分が紹介するものはみんな知らないかもしれないから、誰でも知っているものと比べる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>テレビショッピングで使った表現を、自分が熱中していることを紹介する文で使うことができるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時で使った表現を、自分が熱中していることを紹介する文で使うことができるように、原稿を付加する場を設定する。 本時の学習を整理し、成果と課題を明確にできるように、振り返る場を設定する。 	小集団 一個	10

活動の評価

知識・技能	・形容詞と副詞の比較変化の表現の特徴やきまりに関する事項を理解している。
思考・判断・表現	・同級生にわかりやすくするよう、熱中していることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 ・同級生にわかりやすくするよう、熱中していることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話している。
主体的に学習に取り組む態度	・熱中しているテーマについて、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話そうとしている。 ・同級生にわかりやすくするよう、熱中していることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

※ 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

次	時	学習活動	評価規準（観点：方法）	指導の個別化（手だて）
一	1 ①	1 本単元の活動の流れをつかむ。 (1) Change Maker Awards の動画を視聴し、自分が熱中していることについて話す。 自分が熱中していることの良さがみんなに伝わるプレゼンテーションをしよう。	・熱中していることについて、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話そうとしている。 (態：動画)	プレゼンテーションのテーマの具体例を個別に提示する。 伝えたい内容の中心を整理するよう助言する。
二	1 ④	2 ものを比べて説明するときの表現について考える。 (1) ものを比べて、ちがいを説明する。 (2) 日本の名産の魅力を ALT に伝える。	・形容詞と副詞の比較変化の表現の特徴やきまりに関する事項を理解している。 (知：動画)	複数の例文を提示し、理解を促す。 モデル文を提示し、言いたいことに応じて、個別に修正する場を設定する。
二	2 ③	3 自分が熱中しているテーマのプレゼンテーションを作成する。 (1) 伝えたい内容を整理し、原稿とスライドを作成する。 (2) データや表、アンケート結果を探したり作成したりして、プレゼンを修正する。	・同級生にわかりやすくするよう、熱中していることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 (思：学習プリント)	事実と考えを整理し、構成面と音声面からの工夫点を個別に問う。 1文の意図と全体のつながりを個別に問う。 接続詞の使い方を助言する。
三	1 ②	4 自分が熱中しているテーマのプレゼンテーションを行う。 (1) グループで発表を行い、質問したり質問に答えたりする。 5 学習過程を振り返る (1) 形容詞と副詞の比較変化を用いて、表現できた場面や表現を整理する。	・同級生にわかりやすくするよう、熱中していることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(態：動画) ・同級生にわかりやすくするよう、熱中していることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話している。 (思：動画)	複数の技能を活用することができるよう、技能ごとの練習の場を設定し、そのつまずきに応じて助言する。 質問例や返答例を提示しながら助言する。